

公共建築工事内訳書標準書式の材料費、労務費等の金額の算定例

1. はじめに

公共建築工事内訳書標準書式 2. 工事費内訳書の内容 (5)その他 で記載する料費(材料、消耗材料費等)、労務費等の金額の算定例を取りまとめたものである。

当面の間、本算定例に基づき算定するものとする。

2. 算定例

2. 工事費内訳書の内容

工事費内訳書の記載内容は、次のとおりとする。

(5) その他（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第十二条及び第十三条関連）

必要に応じて、材料費（材料、消耗材料費等）、労務費等の金額を記載する。ただし、区分が困難なものについては、材料費又は労務費以外の項目として1式の金額を記載することができる。

公共建築工事内訳書標準書式
(その他)

名 称	摘 要	数 量	単 位	金 頓	備 考
材料、消耗材料費等		1	式		
労務費		1	式		
上記以外		1	式		
計					

(1)「材料、消耗材料費等」、「勞務費」

① 複合単価より算定する場合

標準歩掛り等（代価含む）を元に、材料単価、労務単価に歩掛りを乗じて、複合単価の「材料、消耗材料費等」及び「労務費」を算定する。

なお、標準歩掛りに基づき作成した単価の算定内訳を用いることができるものとする。

【材料、消耗材料費等】

材料費（材料、消耗材料費等）について計上する。

計上の対象例：各種材料費（雑材料、機械器具費、仮設材費の賃料、損料、消耗材料費等を含む）、雑費、運搬費^{※1}

【勞務費】

労務費について計上する。

計上の対象例：公共工事設計労務単価、歩掛り内の労務費相当分として用いているもの（はつり補修、技術員^{※2}、調整費等）

※1：歩掛り内の算定式にて算定している運搬費を示す

※2：歩掛り内の算定式にて算定している技術員を示す

② 単位施工単価より算定する場合

ベース単価については、複合単価と同様に算定する。

シフト単価の算定例を以下に示す。

【材料、消耗材料費等】

シフト単価

【材料、消耗 = シフト単価 × 材料、消耗材料費等の構成割合※3
材料費等】

(工事場所が物価資料の掲載都市の場合)

$$\begin{aligned}
 & \text{工事場所の} \\
 & = \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所の都市のシフト単価}} \times \frac{\text{工事場所の都市のシフト単価}}{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}} \times \frac{\text{工事場所の都市のベース単価}}{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}} \\
 & \quad \left. \begin{array}{l} \text{工事場所の} \\ \text{材料単価、労務単価を用} \\ \text{いて算定したベース単価} \end{array} \right\} \\
 & = \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所の都市のシフト単価}} \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所の都市のベース単価}} \\
 & \quad \left. \begin{array}{l} \text{工事場所の} \\ \text{材料単価、労務単価を用} \\ \text{いて算定したベース単価} \end{array} \right\} \\
 & \quad \left. \begin{array}{l} \text{工事場所の} \\ \text{材料単価、労務単価を用} \\ \text{いて算定したベース単価} \end{array} \right\}
 \end{aligned}$$

(工事場所が物価資料の掲載都市ではない場合)

$$\begin{aligned}
 & \text{工事場所の} \\
 & = \frac{\text{材料単価、労務単価を用}}{\text{いて算定したベース単価}} \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所を包括する地域を代表する}} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{都市のシフト単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所を包括する地域を代表する}} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{都市のベース単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad = \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所を包括する地域を代表する}} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{都市のシフト単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所を包括する地域を代表する}} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{都市のベース単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad \boxed{\text{工事場所の} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{材料単価、労務単価を用}} \\
 & \qquad \qquad \qquad \text{いて算定したベース単価} \\
 & \qquad \qquad \qquad \boxed{[\text{材料、消耗材料費等} \times 4]}
 \end{aligned}$$

【労務費】

$$\text{シフト単価} = \text{シフト単価} \times \text{労務費の構成割合※3}$$

(工事場所が物価資料の掲載都市の場合)

$$\begin{aligned} & \text{工事場所の} \\ & = \text{材料単価、労務単価を用} \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所の都市のシフト単価}} \times \frac{\text{工事場所の労務単価を用}}{\text{いて算定したベース単価}} \\ & \quad \text{いて算定したベース単価} \\ & = \left[\begin{array}{c} \text{物価資料掲載の同一規格・仕様、} \\ \text{工事場所の都市のシフト単価} \\ \text{物価資料掲載の同一規格・仕様、} \\ \text{工事場所の都市のベース単価} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{c} \text{工事場所の} \\ \text{材料単価、労務単価を用} \\ \text{いて算定したベース単価} \\ \text{工事場所の労務単価を用} \\ \text{いて算定したベース単価} \\ \text{【労務費※5】} \end{array} \right] \end{aligned}$$

(工事場所が物価資料の掲載都市ではない場合)

$$\begin{aligned} & \text{工事場所の} \\ & = \text{材料単価、労務単価を用} \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、}}{\text{工事場所を包括する地域を代表する}} \times \frac{\text{工事場所の労務単価を用}}{\text{いて算定したベース単価}} \\ & \quad \text{いて算定したベース単価} \\ & = \left[\begin{array}{c} \text{物価資料掲載の同一規格・仕様、} \\ \text{工事場所を包括する地域を代表する} \\ \text{都市のシフト単価} \\ \text{物価資料掲載の同一規格・仕様、} \\ \text{工事場所を包括する地域を代表する} \\ \text{都市のベース単価} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{c} \text{工事場所の} \\ \text{材料単価、労務単価を用} \\ \text{いて算定したベース単価} \\ \text{工事場所の労務単価を用} \\ \text{いて算定したベース単価} \\ \text{【労務費※5】} \end{array} \right] \end{aligned}$$

※3：当該構成割合の把握が困難な場合は、ベース単価の構成割合を用いて算定することを基本とする

※4：労務費を除く材料、消耗材料費等で算出したベース単価

※5：材料、消耗材料費等除く労務費で算出したベース単価

③ その他の単価より算定する場合

【材料、消耗材料費等】

材料費（材料、消耗材料費等）として区分可能な費用を計上する。

計上の対象例：物価資料(材)、見積価格(材)

【労務費】

労務費について区分可能な費用を計上する。

計上の対象例：公共工事設計労務単価、見積価格(労)

(2) 「上記以外」（「材料、消耗材料費等」、「労務費」以外）

区分が困難な単価及び経費等については、「上記以外」（「材料、消耗材料費等」、「労務費」以外）として、一式計上する。

計上の対象例：市場単価(材工共・手間※6)、物価資料(材工単価・手間※6)、
見積価格(材工共)、見積価格(経費)、処分費、スリーブ費、
開口切断費等、工場管理費、「その他」の率、共通費の率分、契約保証費等

※6：市場単価及び物価資料に掲載の手間は下請経費を含むため「上記以外」に計上

(3) 端数処理及び計上等

- (1) 及び(2)の算定時における端数処理及び計上等は以下とする。
- ① 標準歩掛り等(代価含む)における(1)に相当する金額は、「公共建築工事積算基準等資料」(以下「基準等資料」という。)第4編第1章1.(2)イ.とする。
 - ② (1)②におけるシフト単価の補正は、「基準等資料」第4編第1章1.(2)ニ.とする。
 - ③ 細目別内訳書、別紙明細書、共通費積み上げ毎、計上している項目別に「材料、消耗材料費等」と「労務費」を算定する。計上する単価、算定する金額(数量×単価)及び別紙明細書の金額計は、小数点以下第2位(小数点以下第3位を四捨五入)までとする。
 - ④ ③で算定した細目別内訳書(別紙明細書含む)及び共通費積み上げの金額計は、円単位とし一円未満切捨てとする。
 - ⑤ 細目別内訳書(別紙明細書含む)及び共通費積み上げの金額計を「材料、消耗材料費等」と「労務費」に分けて集計し、一式計上する。
 - ⑥ 「上記以外」の金額については、工事価格から⑤を控除した額を一式計上する。

(4) 留意事項

本算定例では、(1)について、直接工事費及び共通費積み上げにて計上している。入札参加者が提出する内訳書では、直接工事費のみ計上とする場合もあることに留意する。

なお、本算定例では、工事費算出で用いる積算システムにおいて、労務費等を正確に示すことは、現状困難であると想定されることに留意して取扱うこと。

【(3) 端数処理及び計上等 算定例】

内訳書

工事種別	種目	科目	中科目	名称	摘要	単位	数量	単価		金額	
								材料費	労務費	材料費	労務費
建築工事	庁舎	直接仮設	-	遣方	一般	m2	834	82.97	350.07	69,196.98	291,958.38
				墨出し	一般	m2	2,241	0.00	820.49	0.00	1,838,718.09
				養生	一般	m2	2,241	0.00	492.05	0.00	1,102,684.05
				整理清掃後片付け	一般	m2	2,241	0.00	1,698.30	0.00	3,805,890.30
				内部足場		1式				541.08	3,252.83
				計						69,738.00	7,042,503.00

(標準歩掛等に基づき作成した単価の算定内訳を用いることができる)

標準歩掛け

名称	摘要・規格	単位	丸め後	丸め前	材料費	労務費
遣方	一般	m2	520.00	524.11	82.97	350.07

完全週休2日（土日）工事の場合

名称	摘要・規格	単位	所要量	乗率	単価	金額
切り丸太	末口75mm、L=1,800mm	本	0.15	0.9	485.00	65.48
小幅板	15×90mm	m3	0.0004	0.9	48000.00	17.28
くぎ		kg	0.001	1	210.00	0.21
大工		人	0.006	1.02	30400.00	186.05
普通作業員		人	0.006	1.02	26800.00	164.02
その他		式	1	0.26	350.28	91.07
計						524.11

別紙明細

名称	摘要・規格	単位	丸め後	丸め前	材料費	労務費
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下	m2	690.00	688.59	141.87	546.72
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	m2	3,110.00	3,105.32	399.21	2,706.11
計					541.08	3,252.83

③
④

③